

医療法人博悠会名取病院複合型臨床研修プログラム

1.プログラムの名称： 医療法人博悠会名取病院複合型臨床研修プログラム

2.プログラムの特色

名取病院歯科口腔外科にて外来歯科診療、訪問歯科診療についての研修を行う。

3ヶ月は兵庫医科大学病院歯科口腔外科病棟にて、入院患者研修を行う。

16日間は千船病院麻酔科にて、全身管理及び全身麻酔研修を行う。

3.臨床研修の目標

歯科医師としての人格を育成し、専門性にかかわらず、基本的診察能力を身につけるとともに、顎口腔領域のみならず全身的な診察能力を身につけることを目標とする。

4.参加施設及び指導体制

(1)管理型臨床研修施設

①施設名:医療法人博悠会名取病院歯科口腔外科

②管理者:百々元昭

③プログラム責任者:塚本康裕

(2)協力型(Ⅰ)臨床研修施設

①施設名:兵庫医科大学病院

②研修実施責任者:芳川 浩男

③指導歯科医:岸本裕充

(3)研修協力施設

①施設名:社会医療法人愛仁会千船病院

②研修実施責任者:吉井勝彦

③指導を行う者:奥谷龍

(4)指導体制

指導歯科医の直接指導を中心とする

5.研修期間及び研修内容

(1)研修期間： 1年とする(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(2)管理型臨床研修施設

①研修期間:8 か月(令和 8 年 4 月～5 月、10 月～令和 9 年 3 月)

②研修内容:名取病院歯科口腔外科にて外来歯科診療、訪問歯科診療についての研修を行う。

(3)協力型(Ⅰ)臨床研修施設

①研修期間:3 か月(令和 8 年 6 月～8 月)

②研修内容:兵庫医科大学病院歯科口腔外科病棟にて、入院患者研修を行う。

(4) 研修協力施設

①研修期間:16 日(令和 8 年 9 月)

②研修内容:千船病院麻酔科にて、全身管理及び全身麻酔の見学研修を行う。

6.評価に対する事項

修了判定を行う項目: レポートの提出、研修歯科医手帳の記載状況

修了判定を行う基準: レポートの評価が B 以上であること
評価記録の項目がすべて C 以上であること

【研修評価の方法】

研修プログラムにおける到達目標にしたがって、3～4 か月毎に経験症例における研修内容の自己評価を行う。

また、指導歯科医による研修歯科医の評価、上級歯科医、歯科衛生士を含む部署内スタッフからの人事評価を併せて行う。

【臨床研修修了の認定】

臨床研修委員会において、研修歯科医の自己評価結果、指導歯科医評価結果をもとに最終判定し、当該プログラムの研修修了を認定する。

研修委員会による修了認定を基に病院長より研修修了証書が発行される。

研修歯科医は指導歯科医が行う講義(毎週火曜日・木曜日)を聴講し、レポートの提出を行う。習得できない事項がある場合には指導歯科医による講義およびレポートを提出する。

7.募集定員、募集方法及び採用の方法

(1)募集定員: 1 名

(2)募集方法及び採用の方法

公募とし、筆記試験及び面接により選考を行う。

またマッチングを利用し、採用決定する。

8.研修歯科医の処遇

(1)常勤又は非常勤の別: 常勤

(2)研修手当: 1,500 円/時
時間外手当: あり

(3)勤務時間: 8:45～17:15 原則として、土曜日・日曜日・祝日を休日とする。

(4)休暇: 有給休暇、年末年始有

(5)時間外勤務: 有

(6)当直: 無

(7)宿舎: 無

(8)研修歯科医室: 有

(9)社会保険・労働保険

公的医療保険政府管掌健康保険、公的年金保険厚生年金保険

労働者災害補償保険:有

雇用保険:有

(10)健康管理:健康診断年 2 回

(11)歯科医師賠償責任保険

病院において:加入

個人において:強制加入

(12)外部の研修活動

学会、研究会等への参加の可否:可

費用負担の有無:有

9.具体的な研修目標

A 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)

1.社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2.利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3.人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

4.自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B 資質・能力

1.医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- ①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ②患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- ⑤診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

2.歯科医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ①医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ②日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- ⑤医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。

3.医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ①頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行

う。

- ②患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- ④高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4.診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・移行に配慮した診療を行う。

- ①患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ②診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- ③患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ④診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5.コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- ①適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ②患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6.チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- ①歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- ②多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ③医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7.社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- ①健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ②地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- ③予防医療・保健・健康増進に努める。
- ④地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑤災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8.科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ①医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。
- ②科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③臨床研究や治験の意義を理解する。

9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ①急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ②同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌等を含む。)を把握する。

C 基本的診療業務

1.基本的診療能力等

(1)基本的診察・検査・診断・診療計画

研修内容:初診患者に対し、①～⑥までを一連で実施する

症例数:30

- ①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。

研修内容:初診時医療面接、再診時医療面接

- ②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。

研修内容:口腔内診察、頭頸部診察、各種検査の必要性の判断

- ③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。

研修内容:単純 X 線検査、CT、MRI、歯周組織検査、咬合検査、電気歯髓診、義歯適合検査、血液検査、細菌学的検査

- ④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。

研修内容:担当患者の診断に関する口頭試問

⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。

研修内容:治療計画に関するカンファレンス参加、プロトコール作成

⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。

研修内容:患者への病状説明、インフォームドコンセント、同意書の取得

(2)基本的臨床技能等

①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。

研修内容:ブラッシング指導、フッ化物歯面塗布

症例数:合計 10 症例

②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。

a.歯の硬組織疾患

研修内容:う蝕のコンポジットレジン修復、インレー修復

症例数: う蝕のコンポジットレジン修復:5 症例

う蝕のインレー修復:5 症例

b.歯髄疾患

研修内容:抜髄処置、感染根管処置

症例数: 抜髄処置:5 症例

感染根管処置:5 症例

c.歯周病

研修内容:歯周基本治療、歯周外科治療、歯周病安定期治療

症例数: スケーリング:3 症例

SRP:3 症例

歯周外科治療:1 症例

歯周病安定期治療:3 症例

d.口腔外科疾患

研修内容:単純拔牙、下顎水平埋伏拔牙、上顎埋伏智歯拔牙、粘液嚢胞摘出術、小帯切除術

症例数: 単純拔牙: 5 症例

下顎水平埋伏拔牙: 2 症例

上顎埋伏智歯拔牙: 2 症例

粘液嚢胞摘出術、小帯切除術: いずれか 1 症例

e. 歯質と歯の欠損

研修内容:金属冠による歯冠補綴、ブリッジによる欠損補綴、部分床義歯による欠損補綴、全部床義歯による欠損補綴

症例数: 金属冠による歯冠補綴: 3 症例

ブリッジによる欠損補綴: 2 症例

部分床義歯による欠損補綴: 3 症例

全部床義歯による欠損補綴: 2 症例

f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下

研修内容:高齢者の口腔機能低下に対する摂食機能療法

症例数:3 症例

③基本的な応急処置を実践する。

研修内容:疼痛、外傷、修復物脱離、義歯破損への対応、投薬、切開排膿処置

症例数:合計 10 症例

④歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。

研修内容:担当患者の診療に必要なバイタルサインを測定し、全身状態を評価する

症例数:5 症例

⑤診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。

研修内容:診療録、処方箋、歯科技工指示書、照射録、点滴指示書、他各種文書を適切に記載する。

症例数:合計 50 症例

⑥医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。

研修内容:医療事故の歴史を知り、医療事故予防の基本を理解、実践する。

当院主催の医療安全講習会、院内対策講習会、医療ガス講習会での受講レポートをもって 1 症例とする。

また、当科において、歯科治療時の医療事故事例についての講義を行い、医療事故予防に

についてのレポートをもって1症例とする。

症例数:合計5症例

(3)患者管理

①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。

研修内容:高血圧、糖尿病、腎機能障害等で医科診療中の患者に、歯科治療上の問題点と服用薬剤等について説明する。

症例数:10症例

②患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。

研修内容:高血圧、糖尿病、腎機能障害等で医科診療中の患者について、主治医と診療情報を共有する。

症例数:10症例

③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。

研修内容:心拍及び血圧の状況に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。

症例数:10症例

④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。

研修内容:ショック、過換気症候群、切削器具による裂創等への基本的な対応を実践する。

症例数:合計3症例

(4)患者の状態に応じた歯科医療の提供

①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。

研修内容:患者のライフステージに応じた総合診療計画の立案を実践する。

症例数:合計5症例

②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。

研修内容:妊婦、少児、成人、高齢者それぞれの治療を実践する。

症例数:合計5症例

③在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。

研修内容:在宅患者を訪問し、全身状態を確認しながら歯科診療を行う。

症例数:3 症例

④障害を有する患者への対応を実践する。

研修内容:身体的または知的障害を有する患者の歯科診療に必要な対応を行う。

症例数:3 症例

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

(1) 歯科専門職間の連携

①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。

研修内容:歯科衛生士の役割および業務範囲を理解し、歯科衛生士に適切な指示を出す。

症例数:10 症例

②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。

研修内容:歯科技工士の役割および業務範囲を理解し、適切な技工指示書を記載する。必要に応じて電話等での連携を図る。

症例数:10 症例

③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。

研修内容:医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、診療放射線技師、管理栄養士等各々の役割を理解する。

各項目についてのレポート作成を各1症例とする。また、病院内でのチーム医療を実践し、症例とする。

症例数:10 症例

(2) 職種連携、地域医療

①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。

研修内容:地域包括ケアシステムについて理解する。地域包括ケアシステム構築のプロセスを理解する。地域包括支援センターについて理解する。地域ケア会議について理解する。

医療と介護の連携について理解する。生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加につい

て理解する。

各項目についてのレポート作成を各1症例とする。

症例数:6 症例

②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。

研修内容:介護保険制度を取り巻く状況と方向性について理解する。地域包括ケアシステムにおける歯科保健医療の役割を理解する。

各項目についてのレポート作成を各1症例とする。

症例数:2 症例

③在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。

研修内容:指定居宅介護事業所の基準について理解する。ケアマネジメントの現状について理解する。ケアマネジメントの目的について理解する。ケアマネージャーの役割について理解する。チームアプローチについて理解する。

各項目については、高齢福祉施設への訪問歯科診療でのチームアプローチを通して実践し、症例とする。

症例数:5 症例

④訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。

研修内容:ケアマネージャーとの連携について理解する。訪問介護について理解する。訪問入浴介護について理解する。訪問看護について理解する。訪問リハビリテーションについて理解する。居宅療養管理指導について理解する。デイサービスについて理解する。デイケアについて理解する。ショートステイについて理解する。地域医療連携室について理解する。

訪問歯科での医療・介護関係職種との連携を実践し、症例とする。

症例数:10 症例

(3)地域保健

①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。

研修内容:医療圏について理解する。医科歯科連携について理解する。歯科医師会について理解する。

各項目についてのレポート作成を各1症例とする。

症例数:3 症例

②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。

研修内容:1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、母子健康手帳について理解する。

各項目についてのレポート作成を各1症例とする。

症例数:3 症例

③歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。

研修内容:乳幼児健診、学校検診を理解する。産業歯科検診を行う。

乳幼児健診、学校検診については、レポート作成を各1症例とする。

産業歯科検診について、実践をもって症例とする。

症例数:20 症例

(4)歯科医療提供に関連する制度の理解

①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

研修内容:医療法、歯科医師法、医師法、歯科衛生士法、診療放射線技師法、薬機法、労働基準法、労働契約法、パワハラ防止法、個人情報保護法について理解する。

各項目についてのレポート作成を各1症例とする。

症例数:10 症例

②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。

研修内容:医療保険制度を理解する。健康保険法について理解する。適切な保険診療を実践する。

症例数:50 症例

③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

研修内容:介護保険制度の目的と仕組みを理解する。適切な介護保険算定を実践する。

症例数:10 症例

10.症例数

(1)到達目標達成に必要な症例数:合計 289 症例

(各目標症例数の8割以上を経験、かつ、1症例以上経験)

(2)経験することを目標とする症例数:合計 361 症例